

**【「習う」から「学ぶ」へ】**

これからの社会を生き抜いていくための必要な資質・能力については、この場で何回も説明してきました。10年後の社会は、多様な社会環境の中で生きる人それぞれの、多様な価値が存在しているはずです。そのような多様性社会の中では、自分で考え・判断し、創造していける柔軟な思考こそ必要となってきます。

金津中学校では、新学習指導要領に基づいた新しい授業を進めています。そのキーワードが「習う」から「学ぶ」です。今まででしたら、教師がどのように指導するか、どのような内容の課題を出すか、またそれをどうやり切らせるかに注力してきました。しかし、これからの授業における教師の役割は、生徒をどうやる気にさせるか、問題解決の方法についてどれだけ深く考えさせるかを大事にすべきだと考えています。教師から「習う」という受け身のスタイルから、自ら「学ぶ」という主体的な学びにしていきたいのです。教え方が上手な教師ではなく、生徒をやる気にさせるのが上手い教師が授業を行う学校にしていきたいのです。